

2

2010

如 月

西海市

すくらむ

社協だより

あったかいなあ～

ふれあい食事サービスで
お年寄りと瀬戸保育園児
が交流(大瀬戸)

(関連記事 5 ページ)

笑顔をつなぐ活動の輪

身近な暮らしを支えるボランティア。市内には多くのボランティアがさまざまな分野で活動しています。地域を支え、笑顔をつなぐ活動の輪が、私たちの暮らしや町づくりにどう関わっているのでしょうか。その一部のボランティア活動をご紹介します。

西彼 地域のお年寄りに食事

西彼町ボランティア連絡会

ずらりと並んだ色とりどりのお弁当。ひとり暮らしなどのお年寄りが食事を楽しみながら交流する「ふれあい食事サービス」の開催に合わせ、月1回、「西彼町ボランティア連絡会」の食事ボランティアグループの会員が腕によりをかけて作っています。

西彼町ボランティア連絡会は食事作りや音訳、施設訪問など地域ボランティアとして20年以上も続き、現在42人が活動中。その中でも食事作りのメンバーは29人で、地区ごとに当番制で集まり、会員同士の親睦に

もなっています。

季節の食材を使ったメニューを自分たちで考え、食べやすい大きさにも気を配りながら、手作りの食事を提供。お年寄りの「おいしい」の言葉にボランティアの笑顔があふれていました。

「おいしい」の言葉が次のやる気につながる」と話す会長の高月玲子さん（後列左）。地域のお年寄りが元気になるよう、願いを込めて食事作りを続けています。



西彼町ボランティア連絡会
食事ボランティアの皆さん

子どもたちの安全守りたい

西海

西海安全パトロール隊

午前7時30分。「おはよう。いつてらうしゃい」と、通学する子どもたちに優しく

が活動しています。交差点や危険な場所に気を配り、雨の日も雪の日も登下校する子どもたちを見守っています。

もたちに優しく声をかける会長の山川清美さん。地域

「子どもたちと一緒に集団登校するのが楽しみ。気軽に声をかけてくれるようになった」と活動の喜びを語るメンバーもいました。

の安全を守るうとの思いで「西海安全パトロール隊」

赤い羽根共同募金の地域配分金事業で、揃いのジャンパーと帽子を作り、より一層、メンバーの意識も高まってきたとか。

を平成21年7月に結成し、七釜、中浦、太田和地区など西海町内で16人のメンバー

山川会長は「無理せず、子どもたちを見守っていきたい。メンバー募集中」と今後の活動に意欲をみせていました。



寒い日も通学路に立つメンバー



大島 利用者支えるウエス作り

ボランティアグループひまわり

不要な衣類やタオルなどを使いやすく切って、拭き物に使うウエス。そのウエス作りをしているのが「ボランティアグループひまわり」。毎週火曜日、社協大島支所に集まり、5人のメンバーが作業をしています。

同会は、昭和53年に老人給食の調理ボランティアとして結成。昭和59年、特別養護老人ホーム「大崎やすらぎ荘」ができたころ、利用者の排泄介助に使うウエスが必要だったことからウエス作りが始まりました。

材料となる古着やシャツなどの古布は、地域の婦人会や老人クラブの会員などの善意で集められ、1日に作るウエスは大きな段ボールいっぱいにもなりま

す。ハサミを使い、襟などの硬い部分が残らないように気を配っています。

メンバーは「毎週火曜日が楽しみ。自分たちができること、古布が集まること、使ってくれる人がいることの3つが揃ってはじめて活動が続けられているのかも」と笑顔。ボランティアのこうした活動が施設の利用者を支えています。

手話講座の受講生と歌を手話で表現する渡木さん（前列右）



崎戸

ボランティアで手話指導

渡木アヤ子さん

性6人で、ポイントをわかりやすく説明しながら文章を通訳しています。受講生と一緒に、時には人前で音楽に合わせて手話を披露することもあるそうです。

渡木さんが手話を始めたきっかけは、聴覚障がいがある人との出会い。地面や紙に字を書いて会話をしていたころ、テレビで手話を初めて見て、「習いたい」と講座を受講。手話が初めてのうあ者に通じたときの感動は忘れられず、手話を続けて24年になります。

平成9年から市民を対象にした「福祉総合講座」のひとつ、手話講座で月2回、第2・第4木曜日にボランティアで指導しているのが渡木アヤ子さん。現在、講座の受講生は女

「手話はろうあ者の言葉。情報やお互いの意思を伝え合って、皆が平等に生きていける地域であってほしい」と、市民に講座への参加を呼びかけています。

ボランティアの橋渡し役 ボランティアセンター

ボランティアセンターは、「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを受けたい人」の橋渡し役。活動の相談に応じたり、さまざまなボランティア情報を提供しています。関心のある人はお気軽にご相談ください。

西海市ボランティアセンター
西海町黒口郷
(電話 29-4081)

参加者募集

ボランティアや市民活動団体（NPO）の基礎と実践事例を学ぶ講座を開きます。活動のきっかけづくりにしてみませんか。

NPO・ボランティア入門講座

日時：平成22年 2月28日(日)

13時30分～16時30分

場所：西海総合福祉センター(西海町黒口郷)

内容：講義「NPO・ボランティア活動
初めての一步

～その意義と心がまえ～

(県民ボランティア活動支援センター長
岩永秀徳氏)

実践発表・情報交換会

お申し込み先：

西海市社会福祉協議会(電話 29-4081)

大瀬戸

絆を大事に施設訪ね5年

下村進彦^{のぶひこ}さん、林陽一郎さん



通所者と会話する下村さん(中央)と林さん(右)

指定自立訓練施設「大瀬戸いこいの家(主に精神対象)」に5年ほど通う下村進彦さんと林陽一郎さん。

通所者とお茶を飲んだり話しをしたり、焼き芋や木工作りの手助けをしています。

互いに情報交換

西海市ボランティア連絡協議会

西海市ボランティア連絡協議会は平成18年11月に発

西海市ボランティア連絡協議会

原田榮次^{会長}

ボランティアグループ「崎戸地域通貨さんさん運営委員会」と「暖竹会」の両方の団体に所属し、積極的に活躍中。



まちを
盛りたてたい

す。何かをするためではなく、いつのまにか通所者の豊かな心や温かさに魅せられ、一緒に過ごすようになりました。

林さんは「癒されたり元気をもらったりしている」と話します。時には、通所者が手際よくコーヒーを入れてくれたりすること。

「ボランティアをしているとは思っていない。仲間

の方向性や取り組みを話し合ったりしています。

「ボランティア活動をさらに強化し、各団体が一体になって西海市を盛りたてていきたい」と原田会長は話します。

あなたの力が地域の力に

今回紹介した人のほかに、西海市にはさまざまな場所でボランティア活動をしている人が数多くいます。ボランティア活動とは思わず、やれることをやっているだけという人もいます。

その活動の原点は、「喜んでもらえたら」、「まちを

よくしたい」という熱い思い。人と人との出会いや支えられた人の笑顔が、次へのボランティアの活力につながります。

身の回りで自分にできることを少しずつ考えてみませんか。あなたの力が地域の力になり、支え合う西海市に近づくかもしれません。

「怒らない、ダメと言わない、押しつけない」

認知症の介護学ぶ

1月15日から26日にかけて、家族を介護している人を対象にした家族介護サークルが市内4カ所で開かれました。市福祉施設連絡協議会が主催し、「認知症の対応や介護」をテーマに合わせて32人が参加。

くつておくと認知症の方は安心する。怒らない、ダメと言わない、押しつけない」とアドバイス。参加者の中には、家族がいけないときの火の始末が心配で、電磁調理器に切り替えた人もいました。

1日24時間、365日の生活の中で認知症の方の介護は容易ではありません。いつでも相談できる機関があり、理解してくれる地域

の朝長芳彦さんらが講師を務め、「認知症の方の行動には意味がある。忘れても失敗してもよい環境をつ



認知症の方との生活について説明する朝長氏

であることも介護者の不安軽減につながります。

折り紙や手遊びで交流

独居や夫婦二人暮らしのお年寄りを対象に、毎月交流を深めている大瀬戸町の「ふれあい食事サービス」に、1月19日、瀬戸保育園の園児が訪れました。

この日訪れたのは5歳児13人。子どもたちが童謡「き火」などの歌や「365歩のマーチ」の体操を元気に披露すると、園児のかわいらしい姿にお年寄りは拍手を送っていました。また、一緒に折り紙に挑戦したり、「ずいずいずつころばし」の曲に合わせて手遊びを楽しみました。参加者は「今日は子どもたちと一緒に、にぎやかで楽しかった」と笑顔で話していました。



大瀬戸

園児にお年寄り笑顔

「ずいずいずつころばし」の手遊びを楽しむ園児とお年寄り

有料広告

第6回カラオケ発表会

出演者募集中

期日：平成22年

3月7日(日曜日)

開演：午前9時00分

会場：大島文化ホール



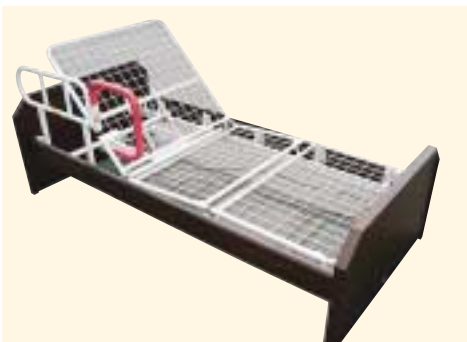
主催：大崎カラオケ愛好会 代表：澤田 正
連絡先：大島町 山下良知（電話 34-3329）
大村守正（電話 34-2898）
原田 親（電話 34-5300）

『唇に歌を
いつも心に太陽を。』
歌を愛する仲間同士の楽しく元気な歌声が、皆様のご来場を心よりお待ちしております。ご近所お誘い合わせの上、お出かけくださいませ。

介護機器で暮らしいきいき

介護機器

電動ベッド



歩行器



ポータブルトイレ



■ 介護機器と利用料

介護機器名	利 用 料	
	1 日 当 た り	1 カ 月 上 限 額
電 動 ベ ッ ド	80円	1,200円
手 動 ベ ッ ド	60円	900円
車 椅 子	40円	600円
ポータブルトイレ	40円	600円
エ ア ー マ ッ ト	40円	600円
歩 行 器	20円	300円
入 浴 用 椅 子	20円	300円

ベッドの運搬が必要な場合は、この他に片道500円、その他の介護機器の場合は、片道300円の運搬費が必要になります。また、運搬に伴う橋の通行、船賃等の実費は別途利用者負担になります。

利用料が半額に

次の場合、機器の消毒等にかかる経費としていただく利用料が半額になります。

利用者世帯が社協会員
生活保護世帯
介護保険制度で支給限度額以上のサービスを受けている

社協では、高齢や身体障害など日常生活に支障がある人に、介護機器を貸し出しています。
介護機器の利用により、お近くの社協までお気軽にご相談ください。
生活を豊かにし、介護者の負担軽減にもつながります。

有料広告 お気軽にご相談ください

- 債務整理（借金の整理）
 - ・返済がきつい、取立てがきつい、生活費もままならないなど
 - 解決策はあります。あきらめずにご相談ください。（相談無料）

年金を担保に借入れをしていませんか？

年金を担保にした貸付けは一部の独立行政法人や公庫（取扱店である銀行等）にしか認められていません。一般業者が年金を担保に貸付けることは違法です。大事な生活の糧を守りましょう。ヤミ金等対応します。遠慮なくご相談ください。

- 訴訟 訴状が届いたら放置せず必ずご相談ください。
- 訪問販売などの契約に関すること
- 相続・不動産・成年後見に関すること
交通手段を持たない方、出張致します。（費用不要）

みなと司法書士法人西海事務所 司法書士 中山雄一

西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷1133 秘密は固く守られます。

電話 0959 - 37 - 0780

介護者リフレッシュ旅行

参加者募集

男女を問わず、介護は身近な問題です。

介護者の心身のリフレッシュと介護者間の情報交換をしながら、日ごろの介護疲れを温泉で癒しませんか。

介護疲れを癒そう！温泉ツアー



日 時：2月19日（金） 9時～15時

場 所：佐賀県嬉野町

参加費：1人500円（食事・入浴料含む）

対 象：介護サークルに参加した方、介護をしている方

お申し込み：ご希望の方は下記へお申し込みください。

西海市福祉施設連絡協議会
事務局 西海市社会福祉協議会
（電話 29 - 4081）

参加者
募集

長崎県 ねんりんピック 囲碁・将棋交流大会



囲碁

平成22年 5月22日(土)

長崎県勤労福祉会館(長崎市)

将棋

平成22年 5月16日(日)

雲仙市小浜老人福祉センター

申込受付

平成22年 1月5日(火)～4月16日(金)

生きがい作品展

平成22年 5月28日(金)～5月31日(月)

申込受付

平成22年 1月5日(火)～4月16日(金)

島瀬美術センター(佐世保市)

絵画、写真、書、工芸・彫刻

参加資格 60歳以上

お問い合わせ先 西海市老連事務局 電話 29-4111



踊りを披露する利用者たち



育成会

笑顔で新年親子の集い

4人の新成人も祝福

西海市手をつなぐ育成会の「新年親子の集い」が1月10日、西海町の知的障害者通所授産施設「互隣の家」で開かれました。知的障がいのある人の家族でつくる西海市手をつなぐ育成会が会員の親睦を深めようと毎年開催。10回目の今年は会員や家族など約100人が参加しました。4人の新成人の紹介や

「障害者福祉の展望」と題し、長崎県手をつなぐ育成会会長の講話が行われた後、参加者は各支部の出し物やカラオケ、ビンゴゲームで楽しみました。ファイナレで、利用者全員が嵐の「Believe」の曲に合わせて踊りを披露すると、楽しそうな姿に出席者は自然と笑顔になりました。

福祉6団体

連絡協だより

西海市福祉団体連絡協議会
社協本所内 電話 29-4111



民児協



坂川和美さん



荒瀬惇子さん

民生児童委員14年で受賞

九州社協連合会会長表彰

民生児童委員等を14年以上務め、社会福祉の増進に尽力した荒瀬惇子さん(西海町)と坂川和美さん(大島町)がこのほど、九州社会福祉協議会連合会会長表彰を受賞されました。坂川さんは、平成6年から主任児童委員として子育てに関わる相談に応じ、親子で交流できる親子教室「ほえみ」の運営に取り組んでいます。また、荒瀬さんは、平成6年から主任児童委員、平成11年からは民生児童委員として活躍され、平成16年には西海地区民生委員児童委員協議会の会長に就任。児童や高齢者、障がいのある人などを訪問し、困りごとの相談に応じています。お二人は「受賞を励みに今後も地域のために頑張りたい」と笑顔で話しました。

老連 参加者募集

第4回高齢者相互支援事業研修会

市老連では、高齢者自らが相互に助け合い、支え合う活動を実践し、地域で明るい長寿社会を目指すために研修会を行います。

日時：平成22年 2月25日(木) 10時～12時

場所：西海総合福祉センター 2階

講師：西海市地域包括支援センター職員

「高齢者の虐待について」

参加希望者は2月22日(月)までに事務局へご連絡ください。

事務局 電話 29-4111(担当：吉田)

